姫路港を起点とした瀬戸内周遊クルーズ日帰りツアー企画提案コンペ仕様書

1 仕様概要

本仕様書は、「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ日帰りツアーの業務内容及び要件等を定めたものであり、事業者は本仕様書に従って業務を執行する。なお、業務の詳細については、事業者の提案を基に、双方協議のうえ決定する。

2 業務の目的

姫路港管理事務所（以下「甲」という）は、姫路港を起点とした瀬戸内周遊クルーズ日帰りツアーにより、2025年開催の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭などを訪れた外国人を含む観光客の誘客、周遊を促進させるとともに、姫路港の利用促進を図る。受託者（以下、「乙」という）は、ツアーを企画・実施する。

3 契約期間 契約締結日 ～令和8年2月27日（金）まで

4 委託業務の内容

中播磨の観光情勢を理解したうえで、姫路港を活用した次の事業を実施すること

(1) 委託料 別紙（実施要領）に記載のとおり

別途参加者からツアー代金を徴収すること

(2) 業務

① 概要

高速船を利用した直島の日帰り観光ツアーを3回（3日）実施

往時は、途中、岡山県のアートの島である犬島等に立寄り自由散策ツアーを実施

② 時期

大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭の開催期間中に実施することを基本とする

③ 定員

訪日外国人を含む計60名程度×3回（平日でも可）

但し訪日外国人が各回定員の半数以上集まるよう、募集の仕方を工夫すること

④ コース等

日帰りツアー

・ 姫路駅～姫路港～犬島・直島（観光）～姫路港～姫路駅

※訪日外国人は姫路駅発着（姫路駅～姫路港までは借上バス）ただし、日本人は姫路港発着

・ 各島内ではツアー参加者が自由に移動し観光できるように工夫すること

・ 直島等の島内の移動は、レンタル電動アシスト自転車を利用することとし、レンタル電動アシスト自転車を提供することとする。

・ 昼食の時間や場所は、参加者が選択できるようにすること

- ⑤ 船内案内
 - ・ 船内で語り部による観光案内を実施すること。また、その内容は、訪日外国人に伝わるよう工夫すること。
 - ・ 日本語、英語での案内を実施すること。
(語り部が語る内容をメモで配付することを可とする)
- ⑥ ツアー販売方法
電子公告を含めたデータ納品
 - ※ HP 掲載、デジタルサイエンス活用、募集、販売業務等に活用
 - ・ 新聞広告は不可
 - ・ ツアー募集データ、広報 HP 等は、日本語、英語ですること。
 - ・ 訪日外国人が各回定員の半分以上集まるよう募集の仕方を工夫すること
 - ・ ツアー中の各島内の主要美術館の状況については参加者へ注意事項として予約時に通知しておくこと。
- ⑦ ツアー中の情報発信
参加者が SNS により旅行中に情報発信するよう促すこと
- ⑧ 参加者負担金
参加者から負担金を徴収すること
- ⑨ 問合せ等への対応、当日の案内等
 - ・ ツアーに係る「各種問い合わせ」への電話対応業務
※荒天等に係る「ツアー中止」に係る問い合わせ等を含む
 - ・ 当日の受付および運営業務（乗船手続き、船内案内）
- ⑩ その他
 - ・ 添乗員 1 名
 - ・ 最小催行人数の設定なし
 - ・ ツアー参加者 60 名程度の他に事務局職員等 1 名以上が同行（事務局職員等のレンタル電動アシスト自転車、軽食代は事務局職員等が負担）
 - ・ 委託料の範囲内で独自に推薦できる提案等があれば、積極的に提案すること

5 運営上の要件

(1) 実施体制

統括責任者及び業務責任者を置き、業務全般の活動を一元化すること。

(2) 甲との連携

乙は甲と協議を重ねながら業務実施計画を作成し、その計画に沿って実施すること。

6 著作権

本業務により 製作される成果物の所有権、著作権は甲に帰属するものとする。ただし、成果物に乙または第三者の著作物が含まれている場合、当該著作物（当該著作物を改編したものを含む。）の著作権は、従前からの著作権者に帰属するものとするが、甲は、本業務の成果物等を利用するために必要な範囲において、これを無償で利用できるものとし、乙はその為に必要な著作権処理を行うものとする。

なお、製作段階におけるこれらの権利について、第三者と紛争等が生じた場合は、乙がその責任において対処すること。

7 再委託の禁止

本業務の全部又は主体的部分（総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分）を一括して第三者に委任し、又は請け負わせること（以下「再委託」という。）はできない。また、本業務の一部を再委託してはならないが、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名及び再委託を行う業務の範囲等を記載した再委託の必要性がわかる書面を県に提出し、県の書面による承認を得た場合は、県が承認した範囲の業務を第三者（以下「承認を得た第三者」という。）に再委託することができる。

なお、再委託をする場合は、再委託した業務に伴う承認を得た第三者の行為について、受注者は県に対し全ての責任を負うものとする。

8 留意事項

- (1) 当日船中等において、①海や港について考える機会を与えること、②ツアー内容や注意事項等を参加者に説明すること。
- (2) ツアー中に撮影した参加者の写真等を、県ホームページ等に掲載することがあることについて、参加者及びスタッフから承諾を得ること。
- (3) 本業務の実施により知り得た個人情報について、漏えい等の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じるとともに、本業務の目的以外に使用、または第三者に提供してはならない。
- (4) 業務の執行について、随時、甲に報告を行うなど、連絡を密に行うこと。
- (5) 仕様書に定めのない事項については、甲と乙において協議・調整のうえ決定するものとする。
- (6) 業務の遂行に当たっては、関係法令を遵守すること。
- (7) 業務の遂行に起因し、参加者を含めた第三者に損害を与え、第三者から苦情があった場合には、乙において損害賠償、または苦情処理の措置を講じること。
- (8) 契約締結後であっても、ツアーを実施することが適切でないと甲が判断した場合はツアーを中止する場合がある。その場合、中止までに要した経費を甲は支出する。なお、詳細については甲と乙の協議により決定する。
- (9) 荒天等、乙の責によらない事由によりやむを得ずツアーを中止することとなった場合、中止までに要した経費を甲は支出する。なお、詳細については甲と乙の協議により決定する。

9 実績報告・成果物の提出

- (1) 成果品令和7年度大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の観光客における誘客状況及び実績、今後の姫路港の利用促進や交通の充実による課題を見据え以下の資料を作成すること。

- ・ 実績報告書（A4カラー）※電子データ

募集方法、参加者の募集及び決定状況、ツアーの実施状況、アンケートの結果とり

まとめ、ツアーによる効果及び姫路港の利用促進等に向けた提案をまとめた報告書を提出すること

- (2) アンケート用紙原本
- (3) ツアー中に撮影した写真（電子データ：J P E G）
- (4) その他当該業務において作成した成果物
- (5) 提出期限 ツアー終了後速やかに提出し甲の審査を受けること